おとずれ 42

発行：跡見校友会　桃李（とうり）の会
〒112-8629
東京都文京区大塚1-5-9
TEL　03(3941)2742
FAX　03(3941)2587
E-mail : tohri-kai@atomi.ac.jp

祝 跡見学園創立百四十周年及び女子大学創立五十周年

幹事長　萬葉 洋子

ごきげんよう。桃李の会の皆様お変わりなくお健やかにお過ごしのことと存じます。

今年は一八七五年（明治八年）に、学祖跡見花蹊先生が、神田区中猿楽町十三番地（現白山通り中程）に「私立跡見学校」を創学して、百四十年を迎える年にあたり、又、女子大学も創立五十周年を迎えるという大変おめでたい年となりました。

これを祝し、学園は平成二十七年十月二十五日（日曜日）茗荷谷校舎において、ホームカミングデーを開催するはこびとなりました。私共、桃李の会及び各校友会は、学園に全面的に協力することになりました。

詳細は、本おとずれ42号三ページに記載されております。又、「おとずれ」と前後して学園発行の「ブロッサム」が七月に皆様のお手元に届きます。その中に、申し込みハガキが同封されておりますので、そのハガキに記載事項をご記入のうえ投函して下さい。この返送されたハガキと、当日お持ちいただく今回の「おとずれ42号の封筒」が、当日、学園からのお土産、記念品等との引き換え証となりますので、どうぞお間違えなきようお願い致します。尚、限定数の封筒のため、封筒の再発行は致しかねますのでご了承下さい。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。卒業生の皆様おひとりおひとりが、今なお持ち続けている愛校心が、学園はじめ私達の活動の原動力となっております。今後も、会員の皆様と共に歩んで行きたいと強く願っております。

関西支部会のご案内

平成二十七年十一月二十六日（木）
第43回 関西支部会 開催
参加御希望のかたは、桃李の会室にお問い合わせ下さい。

クラス会だより

四家クラス会

纐纈コノエ、佐藤久子、山内裕子
平成二十六年六月十二日

昨年、今年と続けてクラス会を開きました。今回は懐かしい茗荷谷の茗渓会館で、六月十二日、出席者十九名で行いました。

茗荷谷駅附近の変貌は、私たち都電で通学していた世代には目を見はるばかりの驚きでした。

茗渓会館でのなごやかな会食後、新しい、女子大学の校舎を見学させていただきました。

九階の、展望が素晴らしいホールでゆっくりと、おしゃべりのひとときを楽しみました。

思いがけず、女子大からのプレゼント。可愛い紙袋に可愛いグッズが入っておりました。このハプニングな出来事が、今回のクラス会を一層盛り上げることとなりました。

女子大のお心遣いに厚く御礼申し上げます。

十一家Aクラス会

三村越子
平成二十六年

第二次世界大戦開戦前後に生まれた私達クラスメイトは今年七十三才になりました。七十才を越えたら7枚、八十才を越えたら8枚の診察券を持っていてあたり前なのよと云った友人の言葉通り、みんなどこが痛いのどこの手術をしたのとそんな話ばかりで始まったものの、いつの間にやらあちらこちらで笑い声ばかりのクラス会になりました。クラスメイトの一人がみなさんにと持ってきて下さった着物の小紋地で作られた手作りの小袋を大騒ぎのじゃんけんで順番にいただいたり、楽しい近況を語りあったり、何十年振りに会った友人もいつの間にか学生時代の頃のクラスメイトです。「友達は太陽！」そんなフレーズを聞いたことがあります。次回のクラス会にはさらに又久し振りの懐かしい笑顔にお会い出来ますように！

お互いに元気をもらってニコニコ笑顔で解散。大成功のクラス会となりました。

八文クラス会

谷中蕗子
平成二十六年十月二十日

神無月20日、2年振りのクラス会を「福臨門丸ビル店」で開催致しました。座席は「百人一首」の上の句と下の句の歌合せをご用意致しましたが、さすが文科卒とあって皆さん短時間に下の句を探し当てられました（私達の幹事席は、紫式部の「めぐりあひて」と清少納言の「夜をこめて」の色紙席にさせて頂きました）。自己紹介では、年を重ねたならではの気取りの無い話題に笑いを誘いながらも、それぞれ今置かれた人生を日々楽しんでお過ごしのご様子を、学生時代と変わらない優雅で気品のある笑顔を添えつつ、語っていらっしゃいました。二次会は有志で、同ビル内のカフェ「椿屋茶房」に参りました。お店ではデンマークの「ロイヤルコペンハーゲン」という銘柄のコーヒーカップを皆し愛でさせられ、厳かにコーヒーが注がれました。そこで、皆くは、その場にふさわしい話題と跡見流の佇まいを気取りましたが、いつの間にか年令を気にすることのない居心地の良さに、宴席での話題の続きに時を忘れてしまいました。34回目の集いは、お互いの健康を気遣いながら別れを惜しんだ、和やかで楽しい思い出として胸に刻まれました。